

ピッチ・ブラック24への参加について

7月12日から8月2日までの間、航空自衛隊はオーストラリア・ダーウィン空軍基地で行われた多国間演習ピッチ・ブラック24に参加しました。

2022年に引き続き2回目の参加となる本演習では、E767を豪州へ初展開させたほか、F-2戦闘機による爆撃訓練を豪州で初めて実施しました。また、宇宙分野を担当する隊員もオブザーバー参加しました。

7月29日から8月1日までの間、航空幕僚長 内倉 浩昭 空将が訓練を視察し、隊員を激励したほか、日米豪比4か国空軍参謀長等会談及び日米豪3か国空軍種間の訓練に関する文書の署名式を行いました。

航空自衛隊は、今後も共同訓練等を通じて部隊の戦術技量を向上し、一つの空で結ばれた各国空軍等と連携して、「自由で開かれたインド太平洋」実現のため取り組んでまいります。

